

インターロッキングブロック舗装 Technical Report

－ 検査編 － (その2)

Vol.63

1. 検査の方法

(1) 検査方法の原則

- ① 検査は原則として抜き取り検査により定められた出来形および性能を判定します。ただし、抜き取り検査が不都合な場合は施工記録(管理データなど)の確認に代えることができます。
- ② 路盤に用いる材料や IL ブロック層に用いる IL ブロック、敷砂、目地砂など事前に品質が定まっている材料については、製造者の試験成績書を確認することによって検査の実施に代えることができます。また、出来形や各層の品質についても施工者の管理データの確認をもって検査の実施に代えることができます。
- ③ 管理水準Aの場合は、耐久的な車道舗装を構築するために重要となる上層路盤の支持力について必ず試験により検査を行います。

(2) ロットの大きさおよびサンプリング

- ① 工事の合否を判定する際の単位をロットといいます。
- ② 1ロットの大きさが 1,000m² を超える場合には 1,000m² 以下となるように分割し、それぞれについて合格・不合格を判定します。

(3) 設計交通量の区分と検査水準

出来形および品質の検査は表1に示すとおり、適用箇所や道路の交通量に応じて適切に検査水準を選択して行います。

表1 適用箇所などによる出来形・品質の検査水準

適用箇所	交通荷重・利用主体		検査水準
歩行者系道路	歩行者、自転車、車椅子など		C
	39kN以下の管理車両乗入れ部		C
	歩道車両乗入れ部	乗用車、小型貨物自動車	C(B)
		大型車両	B
消防自動車乗入れ部	はしご車など		B
駐車場	乗用車、小型貨物自動車対象	駐車スペース・車路	C(B)
		入出庫口	B
	大型車対象	駐車スペース・車路	A
		入出庫口	A
車道	普通道路	N ₄ ～N ₇	A
		N ₁ ～N ₃	B
	小型道路	S ₄	A
		S ₁ ～S ₃	B

(4) 出来形の検査方法

① 出来形検査項目

各検査水準における出来形検査項目を表 2 に示します。

表 2 各検査水準における検査項目

工 種	項目	検査水準 A	検査水準 B	検査水準 C
路 床	基準高さ	○	△	—
	幅	○	△	—
下 層 路 盤	基準高さ	○	○	—
	幅	○	△	—
	厚さ	○	○	—
上 層 路 盤	基準高さ	○	○	○
	幅	○	△	△
	厚さ	○	○	△
IL ブロック層	幅	○	○	○
	段差	○	○	○
	平たん性	○	△	—
	浸透水量 注)	○	○	○

注 浸透水量は、透水性舗装の場合にのみ適用する

○ は検査を実施する

△ は一級舗装施工管理技術者が常駐する場合、あるいは ISO9000S を取得している場合など、検査を省略することができる。

② 標準的な試験方法

出来形の検査項目と標準的な試験方法を表 3 に示します。

表 3 出来形の検査項目および標準的な試験方法

項目	工種	試験方法
基準高さ	路床、下層路盤、上層路盤	試験法便覧 1-7-1(路床面の基準高の測定方法)
幅	路床、下層路盤、粒度調整路盤 セメント安定処理路盤	試験法便覧 2-5-1(粒状路盤の幅の測定方法)
	瀝青安定処理路盤、 透水性瀝青安定処理路盤 IL ブロック層	試験法便覧 3-9-1 (アスファルト混合物層の幅の測定方法)
高さ	下層路盤	試験法便覧 2-5-2(粒状路盤の厚さの測定方法)
	粒度調整路盤 セメント安定処理路盤	試験法便覧 2-5-2(粒状路盤の厚さの測定方法)
	瀝青安定処理路盤 透水性瀝青安定処理路盤	・コア採取-試験法便覧 3-9-2 試験法便覧 3-9-3(アスファルト混合物層の厚さの測定方法) ・コア採取以外 試験法便覧 2-5-2(粒状路盤の厚さの測定方法)
段差	IL ブロック	JIPEA-TM-3(インターロッキング IL ブロック舗装の段差測定方法)
平たん性		試験法便覧 6-2(舗装路面の平たん性測定方法)
浸透水量		JIPEA-TM-2(インターロッキング IL ブロック舗装の浸透水量の試験方法)

③ 品質の検査方法

各検査水準における品質の検査項目を表4に、検査項目と標準的な試験方法を表5に示します。

表4 品質検査項目

材料	項目	検査水準A	検査水準B	検査水準C	
構築路床	締固め度	○	-	-	
下層路盤	締固め度	○	-	-	
上層路盤	支持力	○	-	-	
IL ブ ロ ッ ク 層	敷砂、目地砂	最大粒形	○	△	-
		洗い試験	○	△	-
	敷砂	FM	○	△	-
		細粒化抵抗性	○	△	-
	ILブロック	外観	○	○	○
		寸法精度	○	○	○
		強度	○	○	○
		すべり抵抗性	○	△	△
		透水係数・浸透水量 注1	○	○	○
		保水量・吸上げ率 注2	○	○	○
路面温度上昇抑制値 注3	○	○	○		

注1 透水性ILブロックを使用する場合にのみ実施する。

注2 保水性ILブロックを使用する場合にのみ実施する。

注3 路面温度上昇抑制型ILブロックを使用する場合にのみ実施する。

○は検査を実施する

△は一級舗装施工管理技術者が常駐する場合、あるいはISO9000Sを取得している場合など、検査を省略することができる。

表 5 品質検査項目と標準的な試験方法

材料	項目	試験方法	
構築路盤	締固め度	試験法便覧 1-7-2(砂置換法による路床の密度の測定方法)	
下層路盤	締固め度	試験法便覧 2-5-3(砂置換法による路盤の密度の測定方法)	
上層路盤	支持力	ASTM D4694, 4695(FWD によるたわみ量測定方法)	
		小型 FWD によるたわみ測定	
敷 砂 目 地 砂	最大粒形	JIS A 1102(骨材のふるい分け試験方法)	
	洗い試験	JIS A 1103(骨材の微粒分量試験方法)	
敷 砂	FM	JIS A 1102(骨材のふるい分け試験方法)	
	細粒化に対する抵抗性	JIEPA TM-2 (敷き砂の細粒化に対する抵抗性試験方法)	
I L ブ ロ ッ ク 層	IL ブロック	外観	目視
		寸法精度	JIEPA TM-1(IL ブロックの寸法測定方法)
		強度	JIS A 5371(B3.6.1 曲げ強度試験)
		すべり抵抗性	JIEPA TM-6 (IL ブロックのすべり抵抗試験方法)
		透水性	JIS A 5371(B3.6.3 透水性試験)
		保水性	JIS A 5371(B6.4.1 保水量試験)
			JIS A 5371(B6.4.2 吸い上げ試験)
路面温度上昇抑制型	JIEPA TM-14(路面温度上昇抑制型 IL ブロックの路面温度上昇抑制値測定方法)		

以上